

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2002-540966 (P2002-540966A)

【公表日】平成 14 年 12 月 3 日 (2002.12.3)

【出願番号】特願 2000-609229 (P2000-609229)

【国際特許分類】

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/28 (2006.01)

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 3/00 3 1 0 Z

B 2 4 D 3/00 3 4 0

B 2 4 D 3/28

B 2 4 D 11/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表面に剥離可能に固定される研磨物品であって、

a. 加熱により寸法が増大する熱可塑性ポリマー材料を含む実質的に平坦なシート状基材であって、第 1 の主面と、反対側の第 2 の主面と、厚みと、前記研磨物品を表面に剥離可能に固定するための係合構造手段を含む前記第 1 の主面上から突出して提供された複数の係合要素と、前記熱可塑性ポリマー材料に封入され接合された繊維を有し、加熱により表面寸法を減じて、加熱による前記熱可塑性ポリマー材料の寸法を増大を実質的に無効にする能力を有する、前記基材の厚みに含まれる多孔性繊維状強化要素とを含む基材と、
b. 研磨粒子と、前記熱可塑性ポリマー材料よりも加熱による寸法の変化の少ない硬化バインダー材料とを含む前記第 2 の主面に配置された研磨層と、
を有する物品。

【請求項 2】 a. 加熱により寸法が増大する熱可塑性ポリマー材料を含む実質的に平坦なシート状基材であって、第 1 の主面と、反対側の第 2 の主面と、厚みと、前記熱可塑性ポリマー材料に封入され接合された繊維を有し、加熱により表面寸法を減じて、加熱による前記熱可塑性ポリマー材料の寸法を増大を実質的に無効にする能力を有する、前記基材の厚みに含まれる多孔性繊維状強化要素とを含む基材と、
b. 研磨粒子と、前記熱可塑性ポリマー材料よりも加熱による寸法の変化の少ない硬化バインダー材料とを含む前記第 2 の主面に配置された研磨層と、
を有する研磨物品。

【請求項 3】 a. 加熱により寸法が増大する熱可塑性ポリマー材料を含む実質的に平坦なシート状基材であって、第 1 の主面と、反対側の第 2 の主面と、厚みと、前記研磨物品を表面に剥離可能に固定するための係合構造手段を含む前記第 1 の主面上から突出して提供された複数の係合要素と、前記熱可塑性ポリマー材料に封入され接合された繊維を有し、加熱により表面寸法を減じて、加熱による前記熱可塑性ポリマー材料の寸法を増大を実質的に無効にする能力を有する、前記基材の厚みに含まれる多孔性繊維状強化要素とを含む基材と、研磨粒子と、前記熱可塑性ポリマー材料よりも加熱による寸法の変化の少

ない硬化バインダー材料とを含む前記第 2 の主面に配置された研摩層とを有する研摩物品と、

b . 前記研摩物品の係合要素を係合する手段を含む主面を有する支持部材を含むバックアップパッドと、
を有する研摩装置。

【請求項 4】 a . 加熱により表面寸法を減じる能力を有し、直立係合要素またはその前駆物質を形成することのできる複数のキャビティを含む平滑表面に熱可塑性ポリマーを溶融および接合することにより封入することのできる繊維を含む多孔性布帛を配置する工程と、

b . 前記溶融熱可塑性ポリマーを前記布帛に付着させて、前記繊維を封入し、前記キャビティを充填して、前記係合要素またはその前駆物質を含む第 1 の主面と、反対側の第 2 の主面と、厚みとを有する布帛強化基材を冷却に際して提供する工程と、

c . 前記基材を前記平滑表面から除去して、前駆物質係合要素を係合要素に変換する工程と、

d . 前記第 2 の主面に、バインダー材料中の研摩粒子を含む研摩層を適用する工程と、
を含む研摩物品の製造方法。